

テーマ

# 安心して過ごせるように ～Tさんの場合～

## 支援の背景

【Tさん 18歳男性】

Tさんは、この年度末に支援学校高等部を卒業し、4月から当学園の利用を開始した。自閉症を持つ18歳の男性である。環境の変化や初めての場所などに対する不安が強く、行動が停止してしまう事が多々ある。利用当初から活動への参加が難しく、居室から動く事が出来ない事が度々あった。また、検診があった際、検診が本人の中でとても苦痛な事だった様であり、その後6日間欠席。本人が安心して生活出来るよう、環境を見直し整えていく事となる。

## 支援の内容

まず、本人が見通しを持って生活出来るよう、スケジュールの提示の見直しを行う。今までは紙に写真と文字をプリントした物を使用していたが、より分かりやすくする為にカード式スケジュールを採用。ホワイトボードに写真と文字を入れたカードを貼り付け、時間は本人の分かりやすい丸時計と数字で提示を行う。(写真はその活動を行う場所の写真を使用。)また、活動班はスマイル班であったが、本人が移動が苦手な事を考慮しいつも過ごしている建物で活動出来るふれあい班にて過ごして頂き、好まれる活動の模索を行っているところである。



スケジュール



マッチングが好み♪



余暇時間の様子

## わかったこと

本人の様子から、スケジュールは何となく理解されている様子が見受けられる。少しずつ学園の生活に慣れてきた事で自我も出始め、その時の気分が行動に繋がる事がある様だ。一時期昼食への移動が困難な時があったが、現在は改善。また、支援員側から積極的に声掛けを行う事で、本人側からの挨拶も出来る様になってこられている。

## これから

新しい環境へ慣れていく事は簡単ではなく、個人差もあるもの。この半年弱の間で、Tさんの得意な事と苦手な事、興味がある事など、少しずつ分かってきた様に思う。活動への参加はもちろん、まずTさんが笑顔で毎日登園出来るよう、更なる模索と環境整備を心掛けていきたい。